



Subaru

ニュース777 '22.4.14

男声合唱団

4月10日

## 「嶋本声楽レッスン」開催！「13 コンサート」成功に向けて、レッスンに集中！



4月10日(日)嶋本特別レッスン 「ゆらゆら春」奥村さん 独唱 ねむかホールにて

□ 2022年4月10日(日)10:00~12:00 ねむかホールにて、「昂特別レッスン(午前中)」が開催されました。

前回3月13日(日)午前中に引き続き、希望者だけとはいえ、練習希望曲を中心に特別レッスンを行いました。伊藤さんの指揮・森二三さんのピアノ伴奏で、「春のメドレー」「母なるヴォルガを下りて」「U Boj!」「昂はうたう」。参加者は19名(T1:4名、T2:5名、BR:6名、BS:4名)でした。

□ 4月10日(日)14:00~17:00 ねむかホールにて、「昂特別レッスン(嶋本先生)」が開催されました。

まず、奥村さんの体操の後、嶋本先生から、1時間余りの声楽レッスン・発声法を繰り返し受けました。その後、「13 コンサート」第3部曲、「昂はうたう」「地雷ではなく」「方正はいくさを物語る・方正の青い空」「ゆらゆら春」「死んだ男の残したものは」「昂」「いのちの歌」を、本並先生・伊藤副指揮者の指揮のもと合唱し、1曲ごとに、嶋本先生より問題点の指摘を受け、歌い直すレッスンを繰り返しました。

当日の参加者は、全参加者:29名、内 団員26名(T1:7名、T2:5名、BR:8名、BS:6名)ピアノ伴奏は森二三さんでした。

投稿 若園達雄さん

歌うところ

人びとが相集って歌うのは、すばらしいことだと思う。

性差や年齢の違いを越えて、共に歌うのは、すばらしいことだと思う。

人間の生き方は、ひとによって、それぞれ、さまざま。だが、合唱の美しい響きをつくりだすには、他人のうたを聴かなければならない。

そして、他人はまた自分の声に耳を傾けているのだということを知らなければならない。

うまく歌うのもだいじだけれど、合唱でなによりもだいじなのは、互いを信頼し、敬うこと。他人の声を好きになること。

そして、人間はそれぞれの顔かたちと同じように、めいめい違った声をもっているのだということに、驚きと喜びが感じられたら、あなたの合唱は、きっと、これまでより多くのひとの心を打つだろう。

福岡フロイデコール第十回演奏会・パンフレット

「混声合唱のための『うた』」(武満徹・詞/曲、谷川俊太郎・詞)他を演奏

一九九四年十一月二十七日 メルパルクホール福岡

新潮社  
武満徹 時間の園

**「13 コンサート」本番の成功を目指して、直前の通しレッスンに集中！**  
**4月15・17・21日**



4月21日(木)直前レッスン ねむかホールにて

□4月15日(金)18:00~20:30 ねむかホールにて、「昴定例レッスン」が開催されました。

今日は、本並先生と伊藤副指揮者の指揮のもと、「13回コンサート」1部・3部の全曲を通しレッスンで合唱しました。

当日の参加者は、全参加者：25名、内 団員23名 (T1：8名、T2：5名、BR：6名、BS：4名)

ピアノ伴奏は森二三さんでした。

□4月17日(金)14:00~17:00 ねむかホールにて、「昴定例レッスン」が開催されました。

今日は、本並先生と伊藤副指揮者の指揮のもと、当日の司会役の中村聖保先生のプログラム進行のもと、「13回コンサート」1部・3部の全曲を、通しレッスンで全曲合唱練習しました。

当日の参加者は、全参加者：33名、内 団員29名 (T1：8名、T2：7名、BR：8名、BS：6名)

ピアノ伴奏は 門万沙子さん、森二三さんでした。

□4月21日(木)18:00~20:30 ねむかホールにて、「昴13コンサート直前レッスン」が開催されました。

本並先生と伊藤副指揮者の指揮、当日の司会役の中村聖保先生のプログラム進行とも調整しあいながら、「13回コンサート」1部・3部の全曲を、通しレッスンで全曲合唱練習しました。

ピアノ伴奏も門万沙子さん、森二三さんに参加いただき、各曲での調整すべき箇所の指摘と再演等、本番想定レッスンとなりました。

当日の参加者は、全参加者：30名、内 団員26名 (T1：8名、T2：5名、BR：8名、BS：5名) でした。

最後に、本並先生から、「昴は、やはり歌う心が素晴らしい！底力がある。感動・生きる力を聴いてもらえるよう、がんばろう！」とレッスンの手ごたえと、コンサートの成功に力を合わせよう！と激励のメッセージを送られました。

□舞台に立てるまでのこの2年間。コロナウイルス感染が収まらない中、2020年5月に予定していたコンサートも5回の中断・延期を余儀なくされ、定期レッスンも長期の中断が続き、また体調を崩される団員、コロナ感染予防のために休団を余儀なくされる団員等苦しい合唱団活動が続きました。

今年に入って、いまだコロナ感染は厳しい状況にあるものの、ワクチン接種の効果や、コロナウイルスの感染状況の変化のなか、ようやく4月23日の13回コンサートを実施するために、より以上のコロナ感染対策を行いながら、3月より真剣な合唱レッスン（定例レッスンの実施、特別レッスンの追加、声楽レッスン特別講師の臨時招聘等）を実施しました。4月10日・15日・17日・21日の4日間、全曲通しレッスンも、力を出し切りました。

コンサート当日までのスタッフの方々の詳細な検討に基づきチラシ・プログラム・「友の会」等入会案内・設営準備・役割担当・会場側との折衝等、お疲れさまでした。